


 Ortensia
 vol. 2
 イムス横浜狩場脳神経外科病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

『あじさい～Ortensia(イタリア語)～』の由来は病院脇に咲いていて、花言葉に【辛抱強い愛情】【家族の結びつき】とあります。花言葉の通り、職員一丸となって地域の人たちに深い愛情をもって接していきます。



看護部長挨拶～第2号へよせて～

当院は、『総ての患者さまが納得して満足する医療を提供できる病院を目指す』という病院理念のもとに、地域の皆様に信頼される病院を目標に努力しております。昨年度は、地域や患者さまの需要に応じて療養病棟を回復期リハビリテーション病棟に転換いたしました。急性期から早期にリハビリテーションを受ける患者様への様々な支援や関わりについて、毎日の研鑽の中で徐々に自分達で考えられるようになっていきます。

看護部の理念は『確かな知識と技術、思いやりのある看護の実践』です。知識と技術は安心して患者様に医療を受けて頂くために、そして看護師や介護者には特に、相手を『思いやる心』でケアにあたってほしいと願いこのような理念といたしました。『思いやる心』というのは、スタッフ教育に対しても同じように大切ではないかと思えます。『仲間を思いやりながら、自分も成長する』という姿勢で、働く仲間を育てる力を養い続けられる看護部でありたいと思えます。

私自身も常に周囲へ感謝の気持ちを忘れずに、チーム医療を提供できる組織人として相応しくなるよう努めてまいりますので、今後とも宜しくお願いいたします。



看護部長
片山 美帆

平成28年度入職式

4月1日(金)に開院して初めて30人を超える新入職員を迎え入職式が行われました。

新入職員は谷井院長から一人ひとり直接辞令を交付され、緊張の面持ちで谷井院長、片山看護部長、山田事務長、各所属長の歓迎・激励の挨拶に耳を傾けていました。その後、新入職員それぞれが自己紹介を行い自らの特徴を思い思いの形で表現しました。

入職式後には各部署紹介などのオリエンテーションも行われ、接遇研修の一環で『これから1ヶ月間遅刻をしない為にはどうしたらいいか?』というテーマでグループワークを行いました。新入職員は全員で和気藹々と多種多様な意見を出し合い、これからの社会人生活に胸を膨らませていました。



新入歓迎 くたかけボーリング大会



5月11日(水)、横浜で平成28年度新人歓迎ボーリング大会が行われ、多くの職員が参加しました。司会者の紹介により新入職員が緊張と笑顔で1人ずつ入場し、多くの温かい拍手で迎えられ、谷井院長の挨拶で大会スタート!

チーム構成は1チーム6人、全12チームの各職種が集まり、ストライクやスパアを取るとハイタッチをして全員で盛り上がり、職種関係なくコミュニケーションをとることができ、新入職員も打ち解けはじめている様子が見られ印象的でした。ゲーム後には表彰式が行われ、優勝、準優勝、各賞を取った職員にはそれぞれ景品が贈られました。今回の歓迎会が新入職員にとって1日でも早く職場に慣れるきっかけになったのではないかと思います。

第42回IMSグループ学会



平成28年2月27日(土)、IMSグループ学会が開催されました。今回の学会は「チームでワークする」～チームで成果を最大限発揮するために～というテーマを掲げており、当院から2名が口頭発表を行いました。

山本春香(外来・救急外来師長)が「断らない救急と受入率増加を目指して」と題し、多職種で連携することにより救急車のお断りを減らし、受入数増加につなげる取り組みについて発表しました。

また「多職種連携で実現した療養病棟から回復期リハビリテーション病棟への早期転換」と題し、多職種連携により療養病棟から回復期リハビリ病棟への早期転換をいかに行ったかについて、小林浩子(医事課副主任)が事務職初の発表をしました。

今後も地域医療に貢献するために様々な事に取り組み、成果を発表していきます。

上級合格おめでとう



平成28年2月20日(土)に、年1度開催されるCMS事務認定試験が行われました。

合格率が低いと言われる難関の医事上級試験に、当院から2名が合格し、4月18日のIMSグループ上級合格者祝賀会「はまなす会」にて、中村理事長先生より授与された上級認定証を、後日改めて院内の三役会で披露されました。

医療安全研修



平成28年2月15日(月)と23日(火)に「コミュニケーションツールSBAR」について、医療安全研修を行いました。

SBARとは、最低限必要な報告要素 S=Situation状況、B=Background 背景、A=Assessment評価、R=Request提案に整理し、順を追って伝達するコミュニケーションツールです。

「病棟で患者が急変した場合」を想定し、医師と看護師の電話での速やかな報告や相談の方法についてグループワークを行いました。どのような場面でも分かりやすく相手に伝えることは、チーム医療を実施するに当たりとても重要です。研修を踏まえ、コミュニケーションの院内ルールや環境を整備していきたいと思えます。

外来診療担当表

《脳神経外科》

	月	火	水	木	金	土
午前	石川 谷井	河本 岡本	山口 桑原	谷井	宮原 谷井	柘植 谷井
午後	桑原 柘植	河本	山口	ポトックス外来 (予約制)	桑原	

外来受付時間 午前 8:30~12:00 午後 13:00~16:30
 外来診療開始時間 午前 9:00~ 午後 14:00~

平成28年6月より、ポトックス外来始めました



ポトックス治療とは、ボツリヌス菌が産生する天然のタンパク質「ボツリヌストキシン」を主原料とした薬を筋肉内に注射する治療法です。脳卒中の後遺症で生じた四肢の筋肉の緊張・つっぱり・固くなるなどの症状に対して注射することで筋肉が柔らかくなり、着替えや歩行などの日常生活動作が行い易くなります。以下の症状でお困りの方は、ご相談ください。

- 片側顔面けいれん・・・顔の片側がピクピクとけいれんし続ける、顔がゆがむ、顔が引きつる
- 眼瞼けいれん・・・目がピクピクする、眼がショボショボして開けづらい、まぶしい
- 痙縮(けいしゆく)・・・脳卒中の後遺症で手指が握ったまま、肘が曲がった状態で固まる

このような症状でお困りの方は、ご相談ください。



日本脳神経外科学会認定専門医研修施設 日本神経学会認定専門医研修施設 日本脳ドック学会認定施設



医療法人社団 明芳会 **イムス横浜狩場脳神経外科病院**
 IMS YOKOHAMA KARIBA HOSPITAL OF NEUROSURGERY

〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町218番地9号
 TEL 045-721-3131 / FAX 045-721-3113

編集後記

新年度がスタートし、2ヶ月が経ちました。当院は今まで一番多い31名もの新入職員を迎え入れることができ、院内がとても活気に満ちています。新たな力を加え、全職員一丸となって、病院を盛り上げていきます。



地域医療連携室兼編集長 内野 由美子

IMSグループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMSグループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ(メールフォーム)よりお問い合わせください。

0800-800-1632 **03-3989-1141** (代表)
※1050から始まるFAX電話および国際電話からはご利用いただけません。受付時間：平日8:30-17:30 土曜日8:30-12:30(日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をいただけます。

<http://www.ims.gr.jp/gscnter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F